



## ⚠ 注意

● 照明器具には寿命があります。  
設置して10年経つと、外観に異常が  
なくとも内部の劣化は進行しています。  
点検・交換してください。



必ず守る

点検せずに長期間使い続けるとまれに  
火災、感電、落下などに至る場合があります。  
◎1年に1回は「安全チェックシート」  
(保証書内在中)に基づき自主点検してください。

● 付属の梱包材は取り除いて使用する  
そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

● セードの取り扱いには注意する  
お手入れをする際、セードを持ち上げ  
急に手をはなすと器具破損の原因となります。

● 点灯中や消灯直後はLEDやその周辺に  
さわらない

やけどの原因となることがあります。  
◎お手入れの際は電源を切り、LEDや  
その周辺が冷めてから行ってください。



接触禁止



水ぬれ禁止

● 浴室など湿気の多い場所や屋外で  
使用しない

火災、感電の原因となることがあります。  
◎この器具は防湿、防雨型ではありません。



禁止

● 温度の高くなるものを器具の真下に  
置かない

火災の原因となることがあります。  
◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

● 壁の近くに取り付けない

器具の揺れなどでセードなどが壁に接触し落下、  
破損、傷などの原因となることがあります。

● 多灯設置する場合、器具を揺らしたりしない  
器具の揺れなどでセードなどが接触し落下、  
破損、傷などの原因となることがあります。

● LEDを直視しない

目の痛みの原因となることがあります。

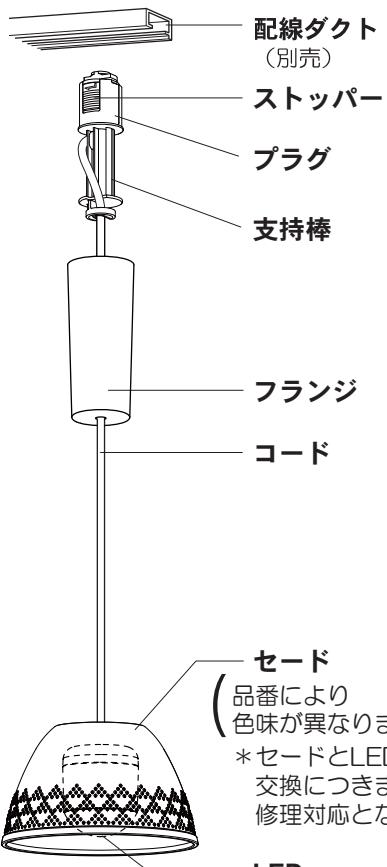
● アルカリ系洗剤は使用しない

強度低下により破損し、落下するおそれがあります。

## 施工前のご確認事項

- 壁スイッチを設けてください。点灯消灯させたり、お手入れの際に電源を切ることができます。
- ほたるスイッチと接続する場合は1回路につき、スイッチ3個までで、ご使用ください。  
(4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯しないことがあります。)

## 各部のなまえ



### ⚠ 注意



多灯設置する場合、  
器具を揺らしたりしない。  
器具の揺れなどでセードなどが接触し落下、  
破損、傷などの原因となることがあります。

# 照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

## 1 天井の配線ダクトを確認して、取り付けの準備をする

- 安全のため、電源を切ってから行ってください。



### 警告

必ず守る

配線ダクトが十分な強度で取り付けられていることを確認する。  
落下によるけがの原因となります。  
●配線ダクトががたつく場合は、配線ダクトを交換してください。



### 警告

必ず守る

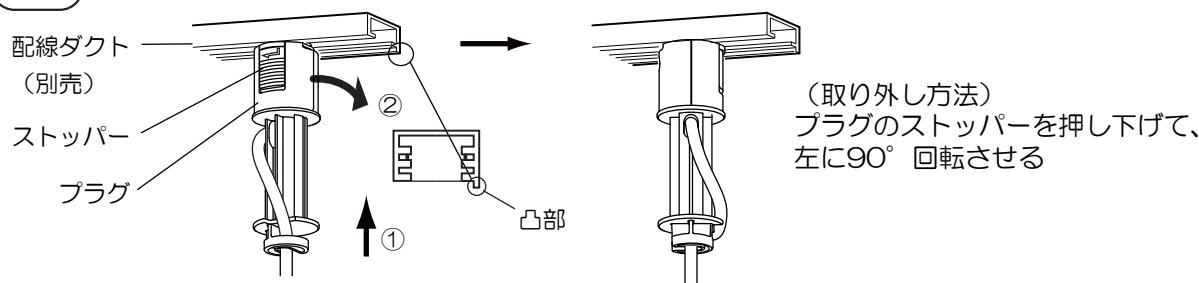
配線ダクトの交換・設置は、工事店・電器店に依頼する。  
感電・落下によるけがの原因となります。  
●交換には資格が必要です。

## 2 プラグを取り付ける

①プラグのストッパーを配線ダクトの凸部の逆側に合わせる。

②プラグを押しながら、右に90°回転させる。

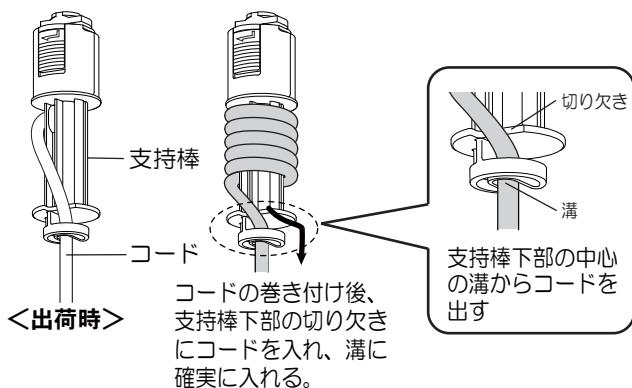
確認 取り付け後、ストッパーを下げずに回し、外れないことを確認してください。



## 3 コードの長さを調整する

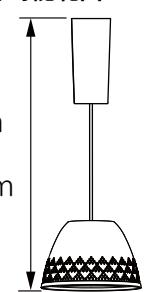
●コードの長さは、コードを巻きつける回数により調整できます。  
複数灯並べて、ご使用になる場合は必ず長さ調整し、器具の高さをあわせる。

◎コード長さの調節範囲は約500mmです。  
(支持棒にコード1巻で約90mmです。)



### コード調節可能範囲

約700mm  
約1200mm



### 注意

必ず守る

コードの巻きつけは支持棒に沿ってきつく巻きつけていること  
巻きつけが不十分な場合は、フランジが配線ダクトまで上がらないおそれがあります。

## 4 フランジを配線ダクトまで押し上げる

